

水稻新品種「ミヤタマモチ」について

1)八木忠之・2)西山 壽・3)小八重雅裕・轟 篤・日高秀光・4)黒木雄幸・6)愛甲一郎
 5)吉田浩一(宮崎県総合農業試験場・1)九州農業試験場・2)元九州農業試験場・3)宮崎県北諸農農林振興局
 4)宮崎県宮崎農業改良普及所・5)宮崎県えびの農業改良普及所・6)宮崎県西都農業改良普及所)
 Tadashi YAGI, Hisashi NISHIYAMA, Masahiro KOBAE, Atsushi TODOROKI, Hidemitsu HIDAHA,
 Yukou KUROGI, Ichirou AIKOU and Kouichi YOSHIDA: A New Rice Cultivar "Miyatamamochi"

水稻新品種「ミヤタマモチ」は、1990年から宮崎県において奨励品種に採用され普及に移された。ここに本品種の育成経過並びに特性概要を報告し普及の参考に供したい。本品種の育成に関し、種々ご高配をいただいた関係農業試験研究機関及び各位に深く謝意を表する。

1. 来歴及び育成経過

本品種は1980年宮崎県総合農業試験場において、早生、強稈大粒糯品種の育成を目標に、「日本晴」クラスの熟期で強稈の「南海76号」を母に、大粒糯品種の「みのたまもち」を父として交配を行い、世代促進、個体選抜、系統選抜を経て、1986年F₂より「南海糯105号」の地方系統名を付し、関係府県に配布して地方適応性を検討してきたもので、1990年6月「ミヤタマモチ(水稻農林糯307号)」と命名、登録された。

2. 特性の概要

1)形態的特性 「ナンゴクモチ」に比較して、稈長は同程度、穂長はやや短く、穂数は少ないやや長稈穂重型である。止葉はやや立ち、熟色は良好である。短芒が稀にあり、ふ先色・穎色は黄白で、粒着密度は中、脱粒性は難である。

2)生態的特性 「ナンゴクモチ」に比較して、出穂期で9日程度、成熟期で14日程度早く、暖地では「あそみのり」程度の中生の早に属する糯種である。耐倒伏性は、「ナンゴクモチ」に勝る強である。収量性は「ナンゴクモチ」に勝る多収である。

いもち病抵抗性遺伝子型は*Pia*と推定され、葉いもち、穂いもちに対する抵抗性はともに「黄金錦」に勝るやや強である。白葉枯病抵抗性品種群は金南風群に属し、圃場抵抗性は「ヒヨクモチ」並みのやや強である。

縞葉枯病抵抗性は「コガネマサリ」同様罹病性である。

3)品質・餅食味及び加工特性 玄米の形状は中、粒大は大で、茶米の発生は少なく、光沢はやや大で「ナンゴクモチ」に勝る良質である。搗精歩留は普通で、餅食味は「ナンゴクモチ」と同程度である。加工特性は米菓(かきもち、あられ)にした場合、外観、一枚の厚さ、ボリューム、食味など従来の品質と同等の製品品質を示す。だいふくもちやぶたえもち等の和菓子の材料となる求肥(ぎゅうひ)にした場合、口あたりが良く、柔らかく硬くなりやすく、色白で従来のものよりすぐれている。最中にした場合も目づまりが緻密で形がくずれにくく、口の中では溶けやすく、品質も良い。餅にしても外観はきめ細かで、こしが強くて形がくずれにくい。

しかし、求肥や最中の原料となる糯粉をつくる過程の

製粉特性については、粉にする前の前処理(吸湿)に時間がかかり、砕粒が多く吸湿にムラが生じやすい。

3. 奨励品種採用理由

宮崎県の糯種の主要品種である「ナンゴクモチ」、「マンガツモチ」、「日向糯」は長稈で倒伏しやすく、収量性も不十分であり、また「ヒヨクモチ」は強稈多収だが、いもち病、品質が不安定であった。「ミヤタマモチ」はこれらの品種に替わる強稈多収で、栽培特性のすぐれた良質糯品種として、宮崎県の普通期水稻地帯を中心に約500haほど作付が見込まれる。

4. 栽培上の注意

- 1)穂数が少なく強稈であるので、基肥を増施がちになるが、過度の施肥をひかえ良質米生産に努める。
- 2)ふ先色が黄白なので、脱穀調整で稈種と混ざらぬように留意する。
- 3)大粒なので、選粒に留意する。
- 4)刈遅れ及び急激な乾燥によって、搗精時に碎米が発生する場合があるので注意する。
- 5)縞葉枯病には罹病性なので、適期防除に留意する。

第1表 ミヤタマモチの特性概要

形質	品種名	
	ミヤタマモチ	ナンゴクモチ
早 晩 生	中生の早	晩生の晩
草 型	穂重型	偏穂数型
出穂期(月日)	8.26	9.4
成熟期(月日)	10.8	10.22
稈 長 (cm)	79	82
穂 長 (cm)	20.4	21.0
穂 数 (本/m ²)	283	381
芒の多少・長短	稀・短	稀・短
ふ 先 色	黄白	黄白
脱 粒 性	難	中
耐 倒 伏 性	強	やや強
葉 い も ち	やや強	中
穂 い も ち	やや強	中
白 葉 枯 病	やや強	やや強
縞 葉 枯 病	罹病性	罹病性
玄米重 (Kg/a)	51.4	44.0
同上標準比率(%)	117	100
玄米千粒重 (g)	29.6	21.6
玄 米 品 質	上下	中上
餅 食 味	上下	上下

注) 育成地における1984-'89の標準栽培の成績